



2年分の
「おめでとう！」

さかいまち 議会だより

No. 199

令和4年
2月1日発行

令和3年11月28日に第66回成人式、令和4年1月9日に第67回成人式が挙行されました



目次

- ◆新春のあいさつ P.2
- ◆第5回臨時会議決事項及び第4回定例会議決事項 … P.2~4
- ◆一般質問 P.4~7
- ◆議会活動 P.8

新春のあいさつ

議長

倉持 功



輝かしい令和4年の新春を迎え、町議会を代表いたしまして、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。町民の皆様方には、町議会に對しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年の第1回境町議会定例会から、議会の傍聴につきましては、お越しくくださる皆様の健康を、新型コロナウイルス感染症から守る観点から、議場内への入場は遠慮いただいております。しかし、令和3年の秋以降、新型コロナウイルス感染者数が急激に減少し、令和3年12月に開催された第4回境町議会定例会で漸く、一般質問と人数は制限させていただきましたが、議会の傍聴が約2年ぶりに再開出来るようになりました。町民の皆様にはこの間、もどかしい思いをさせてしまいましたこと、心よりお詫び申し上げます。皆様におかれましても、この2年間は、新型コロナウイルス感染予防対策に、明け暮れた毎日であ

ったのではなかったでしょうか。世界的に新型コロナウイルス感染症のパンデミックが続く中、我が国は昨年の秋から年末にかけて、新型コロナウイルス感染症の流行が下火になっておりました。しかし、新年を迎えクラスターが発生するなど、急激に新型コロナウイルス感染者が増加し、更に新たな変異ウイルスが流行し始め、その新たな変異株の実態は明らかになっておりません。この様な不透明で先が見えない状況でありますので、町民の皆様におかれましては、現在の状況を楽観視することなく、新型コロナウイルス感染症対策の、三密をさげマスクや手洗い等の、基本的な感染予防対策を徹底して励行していただきまして、今後予想されるコロナ感染第6波に、備えてくださいますようお願い申し上げます。

町政運営につきましては、新型コロナウイルス感染症パンデミックの中ではございますが、その歩

みは着実に進めております。平成28年2月からの、町と議会の努力が実を結び、令和3年11月18日に、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市と姉妹都市協定を結ぶことが出来ました。

新型コロナウイルス感染症パンデミックが終息したならば、ホノルル市民と境町の小・中学生を始め、多くの町民の方々と交流を深める予定です。

これからも私たち議会は、町執行部と連携して、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に万全を期しながら、町民の皆様の日常生活と経済活動の回復に向けた対策を講じるとともに、未来に展望の持てる、安心・安全な町づくりの構築を目指します。

結びに、境町の発展と町民の皆様のご健勝とご多幸を、心からお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

令和3年第5回臨時会

10月7日（1日間の会期）

補正予算関係

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計（議案第69号）	149億3,580万円	1,324万円	149億4,904万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
議案第70号	工事請負契約の締結について	令和3年10月7日	即日 原案可決

令和3年第4回定例会

12月3日～12月8日（6日間の会期）

全議案・原案可決

補正予算関係

令和3年度境町各種会計補正予算

会 計	予算現額	補正額	補正後の金額	
一般会計(承認第10号)	149億4,904万円	6,359万円	150億1,263万円	
一般会計(議案第75号)	150億1,263万円	24億2,929万円	174億4,192万円	
一般会計(議案第84号)	174億4,192万円	14億2,419万円	188億6,611万円	
特別会計	住宅事業(議案第76号)	3億8,161万円	250万円	3億8,411万円
	国民健康保険事業(議案第77号)	28億4,764万円	56万円	28億4,820万円
	後期高齢者医療事業(議案第78号)	4億9,330万円	169万円	4億9,499万円
	公共下水道事業(議案第79号)	7億7,213万円	△54万円	7億7,159万円
	農業集落排水事業(議案第80号)	2億4,412万円	15万円	2億4,427万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
議案第71号	境町再生資源物の屋外保管に関する条例の制定について	令和3年12月8日	原案可決
議案第72号	境町地域ブランド販売拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	令和3年12月8日	原案可決
議案第73号	境町国民健康保険条例の一部を改正する条例案について	令和3年12月8日	原案可決
議案第74号	境町地域ブランド販売拠点施設の指定管理者の指定について	令和3年12月8日	原案可決
議案第81号	町道路線の廃止について	令和3年12月8日	原案可決
議案第82号	工事変更請負契約の締結について	令和3年12月3日	即日 原案可決
議案第83号	工事変更請負契約の締結について	令和3年12月3日	即日 原案可決
議案第85号	財産の取得について	令和3年12月8日	即日 原案可決

一般質問

1番 議席1番 佐怒賀 康輔 議員

- (1)不登校問題について
- (2)生活支援事業所のホームページ掲載について
- (3)自動運転バスの今後の計画について

3番 議席4番 鈴木 英明 議員

- (1)介護福祉について
- (2)農業振興について
- (3)町政運営と、次期町長選挙について

2番 議席10番 田山 文雄 議員

- (1)マイナポイントについて
- (2)子宮頸がんワクチンについて
- (3)選挙の投票率向上に向けた取り組みについて

4番 議席3番 枝 史子 議員

- (1)学校図書館の充実について

5番 議席2番 染谷 直人 議員

- (1)義務教育の充実について
- (2)通学路等の安全対策について
- (3)災害時等の情報伝達について

5人の議員が登壇しました

令和2年度における利用者は10名で、内3名が学校に復帰している。
(教育次長)

Q コロナ禍における対策として実施されたオンライン授業が、不登校生徒にとつて良い効果をもたらしたという事例が全国で挙げられているが、境町としてはどうだったのか。また不登校問題への対応策の一つとして、今後オンライン授業を実施していく予定はあるか。

A 現在は2名体制で運営。不登校問題に対する相談・対応を行なっている。

Q 境町のフレンドスクール取組について、組織体制や実際の対応、実績など。

不登校問題について



議席1番
佐怒賀 康輔 議員

A 境町でも、不登校の児童生徒がオンライン学習に前向きに参加できたという結果だった。これも踏まえて、不登校問題にオンライン学習を用いている自治体へ研修視察をするなどして、今後は境町でも不登校問題に対するオンライン学習を検討していく方針である。
(町長・教育次長)

生活支援事業所のホームページ掲載について

Q ここ数年で生活支援事業所の数が増えたので、一覧にして境町ホームページに掲載してはどうか。
A 掲載する方向で調整。
(町長)

自動運転バスの今後の計画について

Q 事業開始から1年で大きな成果を出している自動運転バス事業について。現在は町内の一部を走行している状態だが、森戸地区・猿島地区・静地区など、新たなルート開拓についての予定はあるか。

A バス路線に関して、

BOLDLY株式会社と連携しながら、適切な新規ルート整備、既存路線の見直しなどを実施していく。また、利用者の利便性向上に関しては、国、県の補助金を活用しながら事業を進めていく。
(企画部長)



議席10番

田山 文雄 議員



マイナポイントについて

Q 当町におけるマイナンバーカードの発行等の状況について。

政府の経済政策としてマイナンバーカードを新たに取得した場合などに最大2万円のポイントを付与し、さらに地方自治体が独自に上乗せできるようにするとの報道があったが、当町の考えを伺いたい。

A 当町におけるマイナンバーカードの発行件数7,848件、交付率は31.3%となっており、推進するため毎月第二日曜日の午前8時30分から正午まで窓口を臨時に開庁しており、申請窓口で職員がサポートする取り組みも進めている。ポイント付与については積極的に国や近隣市町村の状況を共有して検討していきたい。
(総務部長)

子宮頸がんワクチンについて

Q 毎年およそ1万1,000人の女性がかかり、およそ2,800人が亡くなるとされる子宮頸がんに対して、国の子宮頸がんワクチンの積極勧奨が8年ぶりに再開となりました。また、その機会を逃した人の対応を含めた当町の取り組みについて伺いたい。

A 当町としては、HPVワクチンの接種を進めるにあたって、対象者に対してワクチン接種について検討・判断するために必要な情報提供を行うとともに、十分な相談支援体制や医療体制の確保もしなければならないと考えている。接種機会を逃した方への対応については、今後の国からの正式な通知を踏まえて、調整及び推進を図っていく。
(町民生活部長)

選挙の投票率向上に向けた取り組みについて

Q 自治体による様々な投票率向上の取り組みがされているが、当町としての考えを伺いたい。

A 今後は、移動式の期日前投票所の設置についても、高校や商業施設等、関係者と調整をして設置に向けて準備を進めていきたいと考えている。また、引き続き、町全体の投票率向上を目指して、有権者の皆さまの利便性に配慮しながらフェイスブック、ツイッター等も活用し各種取り組みを実施していきたい。
(選挙管理委員会書記長)

議席4番

鈴木 英明 議員



介護福祉について

Q ケアラー支援の当町の取り組みについて伺う。

A 直近の10月の一カ月間では介護認定を受けている633名の方がデイサービス等の通所介護やヘルパー利用の訪問介護、介護用品購入補助、レンタル補助等のサービスを利用いただいて、ケアラーの負担軽減を図っている。

(福祉部長)

Q 第1回認知症カフェが開催されたが、今後どのように運営していくのか伺う。

A 今後コロナの状況を確認しながら、認知症サポーター講座を受講した子供たちを含めた認知症カフェを地域で開催できるように調

整し、参加者に寄り添った認知症カフェを開催していきたいと考える。

(福祉部長)

農業振興について

Q 近年の米価下落に影響を受けている農家に対しての事業継続の支援について伺う。

A 先駆的農業者と連携し、6次産業化による加工品として付加価値をつける取り組みや生産者にとって安定した有利な販売ができる出口の創設を検討していく。

(建設農政部長)

町政運営と、次期町長選挙について

Q 町長の2期8年の政策の成果についてどのように総括しているのか伺う。

A この2期8年間で、財政再建、人口増加対策、ひとの創生の3つの柱を立てて町政を推進してきた。個別の公約についてもすべて達成することができ、様々な事業を展開する中で境町は選ばれる町になってきた。

(町長)

Q 3期目の出馬表明の決意について伺う。

A 3期目の決意としては、3本の柱を実現するため、町の借金比率を更に下げ、水道料金等、国の制度以外の住民負担を上げることなく、境町に住んでよかった、ここに移り住んでよかったと思っただけのような町づくりを、議会の同意及び住民の理解を得たうえで、町職員の方々と共に実行し、進めて行く。

(町長)

議席3番

枝 史子 議員



学校図書館の充実について

Q 図書購入費の充実と今後の対応について。

A 図書購入費は、小学校に各校毎年25万円、中学校に35万円を

計上している。

蔵書数は、文科省の整備目標である「学校図書館図書標準」と比較して、小学校では基準を概ね満たしているが、中学校では不足の状態。

今後とも、活用できない蔵書の廃棄や、新しい図書の購入を進め、図書館資料の充実に努めていく。

(教育次長)

Q 学校図書館支援員の配置・勤務の現状と今後の対応について。

A 当町の小中学校では、3名の学校図書館支援員を配置し、1名が3校掛け持ち、2名が2校掛け持ちで、1日3時間週1日から3日の割合で勤務を行っている。

仕事内容は、貸出作業補助、掲示物作成といった図書館運営に係る職務全般の他、読み聞かせや読書集会の支援等、図書館教育充実のための職務も担っている。

今後とも、学校図書館支援員が担任と連携して、国語科のみならず、さまざまな教科の調べ学習等の支援を行うことにより、学校図書館が「学習センター」機能を発揮できるよう努めていく。

(教育次長)

議席2番

染谷 直人 議員



義務教育の充実について

Q 先進的な英語教育の取り組みと今後の展望について伺いたい。

A 当町では、平成30年度より町内全小中学校での先進的な英語教育を開始。【全国に先駆け義務教育9年間（学習指導要領上は6年間）の英語教育を実施】全国平均の4倍となるALT21名を配置したり、小中学生の希望者向けに英検受験料を全額補助したりするなどの施策を実施しているところ。子育て支援と併せ英語教育の魅力に惹かれて、水戸市、野田市、戸田市などの県内外から、令和2年度には子育て世代74世帯が移住。今後は、ホノルル市との姉妹都市協定締結も踏まえ、先方の協力を得ながら、姉妹校締結や短期留学

などについても協議していきたい。

（教育次長）

Q 自ら発信するスピーチおよびプレゼン教育の導入について町の考えを伺いたい。

A 議員指摘の通り、スピーチ力、プレゼンテーション力については、グローバル社会において、大変、重要な資質と認識。義務教育の中で当該能力の育成に取り組んでいるところではあるが、今後さらに当町としては、特別授業並びに講演会等で識者に出講いただく等の機会を設けることも可能と考える。

（教育次長）

通学路等の安全対策について

Q 現在、町が把握している危険箇所について伺いたい。

A 令和3年6月の千葉県八街市の児童下校中に起きたトラック事故を受け、当町では通学路の安全を一層確保するため、10月に教育委員会および学校等の関係機関が連携し、一斉合同点検を実施。その結果、ガードレールの一部破損や横断歩道の表示がうすい等の40

箇所の報告があり、早急な対策が必要な11箇所を優先箇所として確認し、工事については、うち8箇所が年内完了、1箇所が年度内完了、残る2箇所については国の出先機関や警察へ要望書を提出し、早期の改善を求めているところ。

（教育次長）

Q カーブミラーの設置について、曇らないカーブミラーの導入を含め考えを伺いたい。

A カーブミラーの設置については、見通しの悪い危険箇所に設置することとしており、行政区や関係機関からの要望や担当者の巡回等により、危険箇所を確認し、設置しているところ。曇らないカーブミラーの導入について、経費は1箇所あたり曇らないカーブミラーに関しては6万円の費用がかかり、通常の倍かかるため、今後の状況を踏まえ、検討していく。（コストの兼ね合いもあるため、学校周辺等をモデルエリアとして導入してはどうか？との再質問に対し）実際に曇らないカーブミラーの導入されている地域を視察した上で、危険箇所等に試験的に設置することは可能との認識。

（町長・危機管理部長）

災害時等の情報伝達について

Q Sakainfoの利用状況について伺いたい。

A 12月1日現在、ダウンロード数は3,770人。台風等の気象情報、冠水等の交通情報、災害関連情報のほか、コロナ禍におけるワクチン接種のお知らせや注意喚起などを適宜、配信しているところ。

（危機管理部長）

Q Sakainfoの今後の活用について伺いたい。

A 議員より指摘の、犯罪や火災等の情報配信に関して、既に警察からの詐欺、盗難などの犯罪情報に基づき、注意喚起を行っているところであり、今後は学校等の不審者情報等についても適宜、配信していく。また、火災等の情報に関しても、今後、リアルタイムで配信していく。（危機管理部長）



ハワイ州ホノルル市との姉妹都市協定調印式

11月18日、ハワイ州ホノルル市との姉妹都市協定調印式がオンラインにて開催され、姉妹都市友好協定が締結されました。姉妹都市協定の目的は、両市町が一層の相互理解を深め、多様な協力を促進することであり、境町議会といたしましても今後ともに発展していけるよう、教育・観光をはじめ様々な分野においてさらに交流を深めてまいります。



アルゼンチンの日の集い

11月27日、長田小学校において、「第32回アルゼンチンの日の集い」が開催されました。児童が鼓笛やダンスの発表でギジェルモ・ハント特命全権大使を歓迎しました。

長い歴史のあるアルゼンチン共和国と境町の交流が、さらに深化することを期待しております。



編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 枝 史子 委員 渡邊 昇

副委員長 染谷 直人 委員 青木 輝明

〒306-0495 境町391-1
TEL.0280-81-1316 FAX.0280-87-5873
<http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>